

アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン

ANBD 2014 東京展

2014年12月20日(土)―25日(木)

東京工芸大学 中野キャンパス 1―3号館・芸術情報館

10:00―18:00 入館無料

12月20日(土)

13:30 ― オープニング (ANBD2014エクセレントアワード授賞式)

15:00 ― 記念講演「対をなすカタチ アジアのデザインが語るもの」 講師:杉浦康平

参加費無料 要申込み <http://anbd.info/jp/>

17:00 ― レセプション

12月21日(日)

13:00 ― ワークショップ

「デジタル浮世絵ぬりえ」 定員10名 講師:三浦剛 (東京工芸大学芸術学部)

「デザイン書道」 定員20名 講師:塚原寿子 (東京工芸大学芸術学部)

参加費無料 要申込み <http://anbd.infp.jp/>

カタチの中のアジアの心

2014年度テーマは「カタチの中のアジアの心」。

東アジアの340のメッセージが作品になりました。

主催:アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン協会

ANBDポータルオフィスサイト:

<http://anbd.info/>

ANBD東京事務局オフィシャルサイト:

<http://anbd.info/jp/>

共催:東京工芸大学 後援:玉川大学

協力:株式会社ワコム

会場に関するお問い合わせ:

東京工芸大学 中野キャンパス

〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5

Tel.03-6276-1543

担当:塚原 tsukahara@dsn.t-kougei.ac.jp

展覧会に関するお問い合わせ:

ANBD東京事務局

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

玉川大学芸術学部デザイン研究室

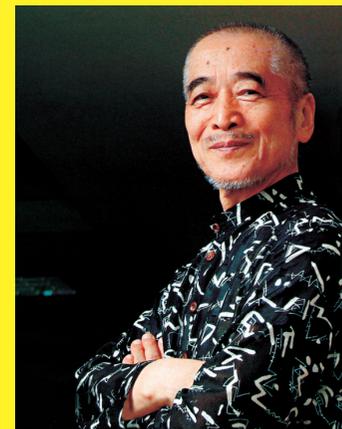
Tel.042-739-8082

担当:中島 tokyo@anbd.info

杉浦康平 (すぎうら・こうへい)

1932年東京生まれ。東京藝術大学建築学科卒業。1964―1967年ドイツのウルム造形大学客員教授。50年代後半から雑誌、レコードジャケット、展覧会カタログ、ポスターなどのデザインを始め、70年ごろよりブックデザインに力を注ぐ。同時に、変形地図「やわらかい地図」のシリーズ、文字や記号など視覚伝達のかたちを独自の視点でまとめあげたヴィジュアル・コミュニケーション論、曼荼羅、宇宙観などを中心とするアジアの図像研究、知覚論、音楽論などを展開。広範な図像研究の成果をデザイン手法に取り入れて、多くのクリエイターに影響を与えつづけている。

また、アジア文化を紹介する展覧会の企画・構成や造本を数多く手がけ、国内外での講演を通して、アジア各国のデザイナーとも密接に交流する。1955年日宣美賞、1962年毎日産業デザイン賞、1982年文化庁芸術選奨新人賞、ライブツィッヒ装幀コンクール特別名譽賞、1997年毎日芸術賞、2005年織部賞など受賞多数。1997年、紫綬褒章を受章。著書に『日本のかたち・アジアのかたち』(三省堂)、『かたち誕生』『生命の樹・花宇宙』(以上、日本放送出版協会)、『宇宙を叩く』『多主語的なアジア』『アジアの音・光・夢幻』(以上工作舎)、『疾風迅雷―杉浦康平雑誌デザインの半世紀』『アジアの本・文字・デザイン』(以上、DNPアートコミュニケーションズ)、『文字の美・文字の力』(誠文堂新光社)、『脈動する本―杉浦康平デザインの手法と哲学』(武蔵野美術大学美術館・図書館)など多数。



ANBDのあゆみ

*=メイン会場

第1回 共通テーマ：アジア 2008年8月—10月

会場：ソウル(韓国)、札幌[札幌市立大学]、台南(台湾)、天津(中国)
 展覧会以外の活動(札幌)：記念公園、作家アトリエ訪問ほか

第2回 共通テーマ：ネットワーク 2009年8月—11月

会場：天安(韓国)、台南*(台湾)、天津(中国)、奈良[奈良文化会館]
 展覧会以外の活動(奈良)：学生ワークショップほか

第3回 共通テーマ：ビヨンド 2010年9月—11月

会場：清州(韓国)、台北(台湾)、横浜*[赤レンガ倉庫]、天津(中国)
 後援：玉川大学 助成：芸術文化振興基金
 展覧会以外の活動(横浜)：記念講演、ライブペインティング、ワークショップほか

第4回 共通テーマ：生命のためのシステム 2011年8月—12月

会期：ソウル(韓国)、天津*(中国)、台北(台湾)、横浜[赤レンガ倉庫]
 後援：玉川大学 助成：芸術文化振興基金
 協力：東京学芸大学石井研究室、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
 展覧会以外の活動(横浜)：基調講演、震災地支援プロジェクト、ワークショップ、ミニコンサートほか

第5回 共通テーマ：地域文化 2012年9月—12月

会場：ソウル(韓国)、桃園*(台湾)、蘇州(中国)、横浜[赤レンガ倉庫]
 後援：玉川大学 助成：芸術文化振興基金
 協力：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
 展覧会以外の活動(横浜)：ミニコンサート、デジタルステーションほか

第6回 共通テーマ：未来へ向けたアジア文化遺産 2013年8月—12月

会場：相模原[女子美アートミュージアム]、雲林(台湾)、天津(中国)、ソウル*(韓国)
 共催：女子美術大学美術館 後援：玉川大学、相模原市 協力：株式会社モリサワ
 展覧会以外の活動(相模原)：シンポジウム、ワークショップ

ANBD2014 (第7回)の日程と開催地

8月16日—21日 ソウル(韓国)：DMC広報館
 10月7日—12日 台北(台湾)：台湾芸術大学
 11月8日—15日 天津(中国)：天津工業大学芸術与服装学院
 12月20日—25日 東京*：東京工芸大学

東アジアの新たな文化交流ステージを創る国際展

「ANBD (アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン)」は、日本、台湾、中国、韓国の4都市で毎年開催される国際デザイン展です。7年目を迎える本年度の開催地は、ソウル、台北、天津、東京(会期順)、2014制作テーマは“カタチの中のアジアの心”。グラフィックデザイン、写真、イラストレーション、空間デザイン、工芸などさまざまなジャンルにわたる作家が参加し、デジタル出力によって表現された作品を中心に各会場で展示いたします。ANBDの特徴は、地域・世代・ジャンル・組織・産学などの枠組みにとられないアンデパンダン展であることです。デジタルツールを活用して運営するANBDは、東アジアにおける新たな文化交流ステージの創造をめざしています。

アジアのカタチへのさまざまな思いが作品に

ANBD 2014東京展は、12月20日[土] から25日[木] まで、東京都中野区の東京工芸大学キャンパスで開催されます。本展では、“カタチの中のアジアの心”をテーマとする 340点の作品を展示いたします。アジアは、近代になって著しく西洋化したと捉えられていますが、アジアの文化は依然として西洋文化とは異質のものであることを我々は自覚しなければならぬのではないのでしょうか。例えば、現代においてもアジア地域では、独自のアニミズムや宇宙観が人々の暮らしや文化の根幹に関わっており、それぞれの地域は自発的に固有の文化を発展させているといえます。

東アジアの作家たちは、このテーマをどのようにとらえ、どのようにビジュアルライズしているのか、それぞれの作品に込められた“カタチの中のアジアの心”への思いを見出していただければ幸いです。なお、本展の会場では、各地域作家による個展も併せて開催いたします。

ANBD

アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン
 Asia=東京、ソウル、天津、台北、4都市のANBD地域事務局が拠点となっている。
 Network=出品者からの紹介などによって人的ネットワークを拡張している。
 Beyond=地域・世代・ジャンル・組織・産学・プロアマ・スタイルなど、様々な枠を超えた交流のステージを創造している。
 Design=狭義でのデザインだけでなく、有形無形のシステムやアート活動など、広範なクリエイティブ活動全般を対象としている。

ANBD協会

デジタル通信を活かした展覧会運営を行い、東アジアデザインの新しいネットワークの構築を目指す。展覧会開催、会員間交流の推進、教育交流活動、作品集刊行、ANBDエクセレントアワード授与などを主な活動とし、2008年の活動開始以来、国際デザイン展ANBDを主催している。

ANBDエクセレントアワード

毎年、4地域16名の審査員によって選ばれた作品にANBDエクセレントアワードが授与される。
 本年度の東京地域の審査員は、島田裕之(茨城大学教授)、谷口広樹(東京工芸大学教授)、中垣信夫(グラフィックデザイナー・ミームデザイン学校代表)、野沢二郎(明星大学教授)の4名。
 (敬称略・順不同)

*ANBDの出品者は4つの展覧会に向けてそれぞれ異なる作品を出展しています。

東京工芸大学 中野キャンパス 1—3号館・芸術情報館

〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 TEL:03-3372-1321

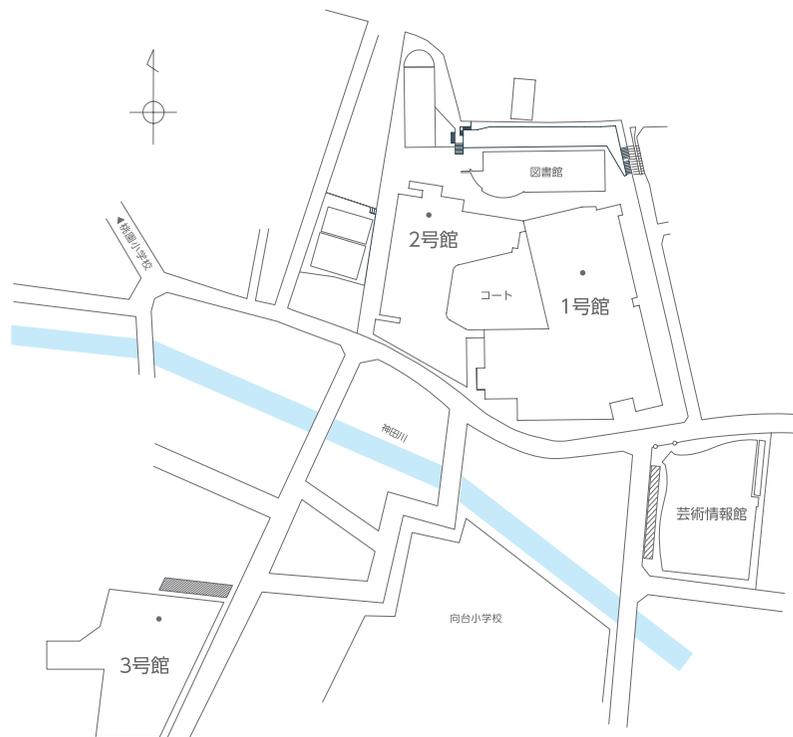
公式 HP: <http://www.t-kougei.ac.jp>

アクセス:

地下鉄 東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線
「中野坂上駅」より徒歩7分

1番出口より山手通りを初台・大橋方向に進み、
成願寺を右折

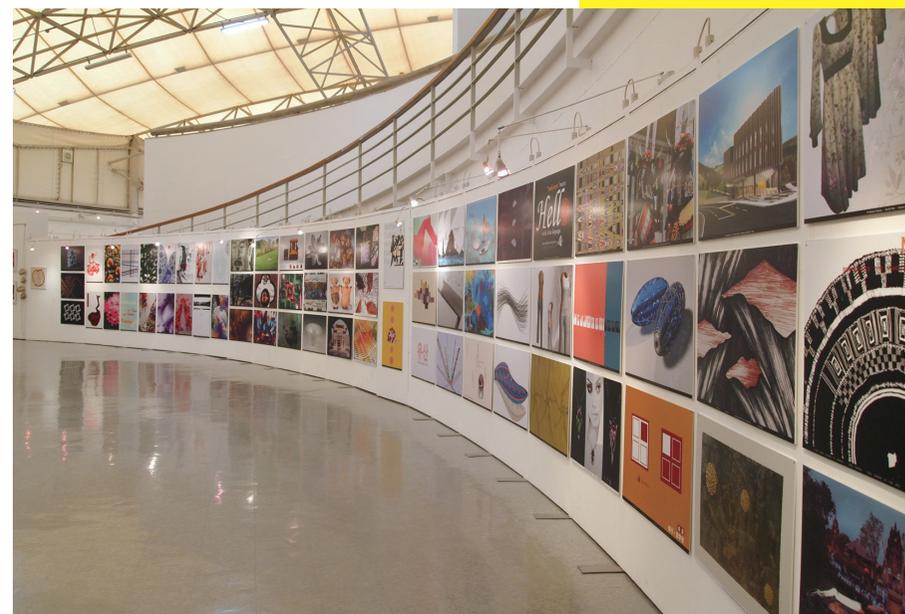
*駐車場がございません。公共の交通機関でご来
場ください。



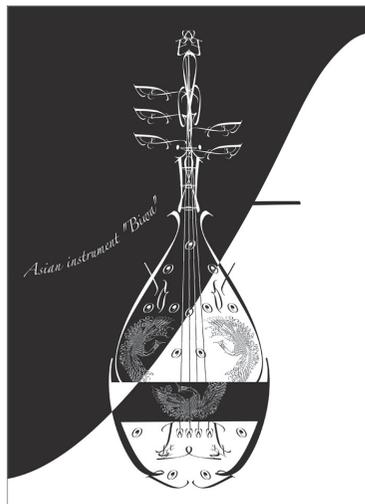
東京工芸大学中野キャンパス地図



会場風景 (ANBD2013相模原展)



会場風景 (ANBD2013ソウル展)



笠井則幸「Asian instrument」



後藤雅宣
「The Asian forms by Photogramism / Type J」



渡辺観「kingyobusi」



坂本のどか「B on N 1」



中島明菜「LEAVES」



福田一郎「Representation of an infinite form (4)」



南川茂樹「PeCT-To」